

健診部医師に聞く

うちやま かなえ
内山 華苗



健康診断（健診・検診）について



健康診断（健診・検診）を受けたことはありますか？

健診は、健康で社会生活が可能か、検診は、特定の病気がないかとの視点から、ともに無症状の病気の早期発見・早期治療を目指しています。当院では、身体計測・血液・便・尿検査といった基本的な項目、リスクに応じたオプションを、日帰りを含む複数のコースから選べます。いくつか紹介します。

- ・胃がんドックは、より詳細に観察できる、胃カメラがおすすめです。
- ・肺がんドックは、ヘビースモーカーの方に。
- ・脳ドックは、生活習慣病のある方、喫煙者・飲酒の多い方などに。
- ・骨粗鬆症は、加齢の他、甲状腺疾患や糖尿病・ステロイド薬・喫煙も危険因子です。
- ・眼科健診では、緑内障・加齢黄斑変性のほか、高血圧・動脈硬化・糖尿病などの眼への影響も評価できます。
- ・前立腺がんを見つけるには血液中のPSA値が有効です。
- ・乳がんは、40歳以上を対象に、1～2年に1回の検診が推奨されています。加えて、日頃から自分の乳房を見て触って状態を意識する習慣＝ブレスト・アウェアネスが早期発見につながります。
- ・子宮がん検診は、産婦人科医による検査が望ましいとされています。超音波検査では卵巣の評価も可能です。関連して、HPVワクチンは子宮頸がんや陰茎がん等を予防し、当院でも接種を予約できます。
- ・PETは薬を用いて全身のがんを見つけ出す検査ですが、不向きな臓器もあります。なお、CT・PETなど被爆を伴う検査では、適正な検査間隔・受診の根拠・被爆による発がんのリスクを考える必要があります。



検査結果は、次回まで健康を保てるかという観点で、喫煙や飲酒の有無・過去の検査結果・ご家族の健康状態なども加味して評価しています。通院中の方は、お薬手帳をお持ち下さい。

注意点は、病変の進行速度や受けたタイミング・検出できる範囲など検査には限界があることです。症状がある場合は、結果にかかわらず専門医を受診して下さい。

からだの状態を把握して健康を維持するため、健康診断を利用してみませんか。潜在的な不健康が見つければ改善し、さらに健康になりましょう。治療や精密検査が必要とされたときは、必ず受診して下さい。気になることなど、気軽におたずね下さい。

発行：独立行政法人労働者健康安全機構富山ろうさい病院 地域医療連携室

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページにも掲載しています。

【連絡先】0765(22)1280(病院代表)

E-mail: chiiki2@toyamah.johas.go.jp